



予断と偏見

じんけん通信

第3号
(通算11号)
2019年
6月19日

【文責】
人権・同和教育
担当:長友伸二

第16回平和祈念資料展

延岡に初めて爆弾が投下されたのは、1945年3月4日、太平洋戦争末期のことでした。これ以降、6月29日未明の大空襲など、14回の空襲があったとされています。

今年も、市立図書館では、15日(土)から「平和祈念資料展」を開催しています。テーマは「戦時下の生活の中で～庶民のつぶやき」。思想・言論を取り締まった特別高等警察の記録や、人々の日記などをもとに、あの戦争を見つめ直しています。期間は7月7日(日)までです。

なお、岡富中では、平和学習を27日(木)6時間目に行います。



16日(日)には資料説明会が行われました。

岡富中ホームページでバックナンバーを公開中！

「昔からそうなっているから。」
「みんながそういっているから。」

といつたことを判断基準にしたことはありませんか。それらは、自分で真実を確かめたわけでもあります。間違っている場合もありません。「知らない」とはそのことを判断基準にすることはできません。「知らない」とはそういうことです。それが積み重なっていくと、偏見になります。

◆
偏見とは「十分な根拠なしに

もたれる偏った判断や意見」です。そして、偏見をもとに「差別」がつくられていくのです。
もし、あなたが、あやふやらしさ・どうしてそうなのか」といってください。知らないことを判断基準にした場合の責任は、あなたです。「人が」は通用しません。
あなたは差別をつくる人ですか？ それとも差別をなくしていかく人ですか？

2019年度第3号

【ご家庭から】ご感想をお待ちしております。学級担任にお渡しください。

年 組／お名前

(ペンネームでもO.K.ですよ！)

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか？ (○ · ×)